

▼北陸

【富山】「薬都とやま」で

花ひらくブランド、シヤクヤク  
5月中旬に紅・白のオーソドックスな色や縞模様入りの大輪のシヤクヤクが見ごろを迎えます。県東部の上市(かみいち)町、華やかな香りが漂う薬用植物指導センターです。



富山シヤクヤク  
「春の装」の花の摘み取り風景

「春の装」は、富山県が平成22

年よりブランド化推進事業で選出した品種で、優良薬用品種の「梵天」より薬効が強く、栽培面や生薬成分含量などからも高付加価値の薬草です。昨年初めて薬酒メーカーの原料に採用され、切り花は観賞用に、根は生薬に、と契約農家で生産を増やしている切り札です。

【石川】写真を通じて

能登復興支援を

能登半島地震の被災地は、復興にはまだまだという状況が続いています。

この能登を、写真を通じて支援しようとカメラメーカーが「復興支援チャリティ写真展」を開催しました。民放クラブ・石川の写真同好会でも参加することになりました。応募した会員は8名。出品数は21点になりました。主催者によれば、全体として200点の参加があつたということです。そのうちの21点ですから、我が同好会が1割を占めていることになります。

参加費の半額が義援金として寄付されることになっています。金額としてはささやかなものでは

ありますが、民放クラブの掲げる社会貢献の趣旨に則り、少しはその役割を果たせたかなと思っております。

写真展は8月5日から24日まで金沢市内で開催されました。



復興支援チャリティ写真展会場

【福井】登山予定が映画鑑賞に…

丹羽 京子(FTB)

福井市に、子供から高齢者まで気軽に登れると広く親しまれている「文殊山」(もんじゅさん)という低山があり、我がクラブで「文殊山に登ろう!」という企画を立てました。参加者8名、前日からリュックに飲み物等を準備して楽しみにしていましたが、夜から雨が降り始め、2週間後に延

期となりました。

ところがその再挑戦も前回は上回る豪雨と雷に見舞われて、またもや中止に。何とも文殊山に嫌われた我々です。

しかし、昼食会のレストランも予約してあるので、急遽「映画観賞&ランチ会」に変更。以前から気になっていた、作家・佐藤愛子氏のエッセイの映画化『九十歳。何がめでたい』を観に行くことにしました。大正生まれのお婆さんの頑固さや物言いの、おかしくて面白いこと、草笛光子の名演技が光ります。

亡くなった老親を思い出して思わず涙が…。文殊山は再度リベンジするとして、今回はこれで良しとしましょう!

